

景気見通し調査結果報告書

調査期間 平成 26 年 6 月

小 松 商 工 会 議 所

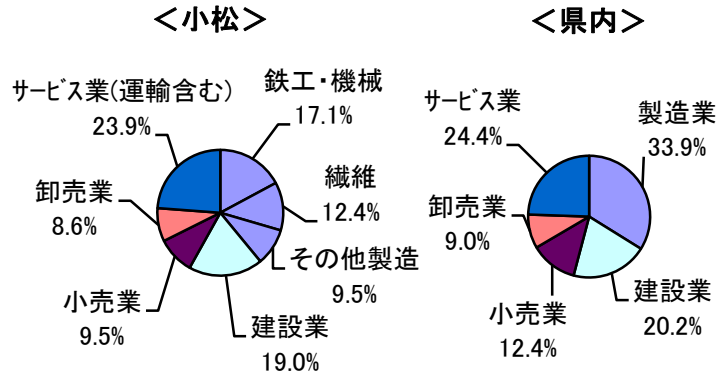
中 小 企 業 相 談 所

【調査対象】

小松商工会議所 議員・評議員企業 225社

回収率 105企業 (回収率 46.7%)

業種	小松	県内
鉄工・機械	18	169
繊維	13	
その他製造	10	
建設業	20	101
小売業	10	62
卸売業	9	45
サービス業(運輸含む)	25	122
合計	105	499



景況・業況の動向

【主要な表現について】

※業況判断 …… 調査対象企業が自らの業績に下した判断

※DI 値 …… D. I(ディフュージョン・インデックス)とは企業の景況感を示す指数
「好転」の割合から「悪化」の割合を差し引いた値(無回答を除く)

※前 期 …… 平成 25 年度第4四半期(平成 26 年 1 月～3 月)

今 期 …… 平成 26 年度第1四半期(平成 26 年 4 月～6 月、但し 6 月は見込み)

来 期 …… 平成 26 年度第2四半期(平成 26 年 7 月～9 月)

【各項目別の DI 値の意味について】

- (1)景 況 感……………DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (2)売 上 高……………DI 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- (3)売上単価……………DI 値がプラスなら「上昇」を、マイナスなら「低下」を表す。
- (4)資金繰り……………DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (5)採算性(経常利益) ……DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。

(1)-1 貴企業の景況感

(単位:社)

	鉄工・機械		繊維		その他製造		建設業		小売業		卸売業		サービス業	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
好 調	3	5	3	2	3	4	1	4	2	0	0	0	2	4
不 変	10	8	8	8	5	5	8	9	2	7	7	9	12	14
悪 化	4	4	2	3	2	1	10	6	6	3	2	0	9	4
無回答	1	1					1	1					2	3
総 計	18		13		10		20		10		9		25	

(1)-2 DI値

(単位:DI)

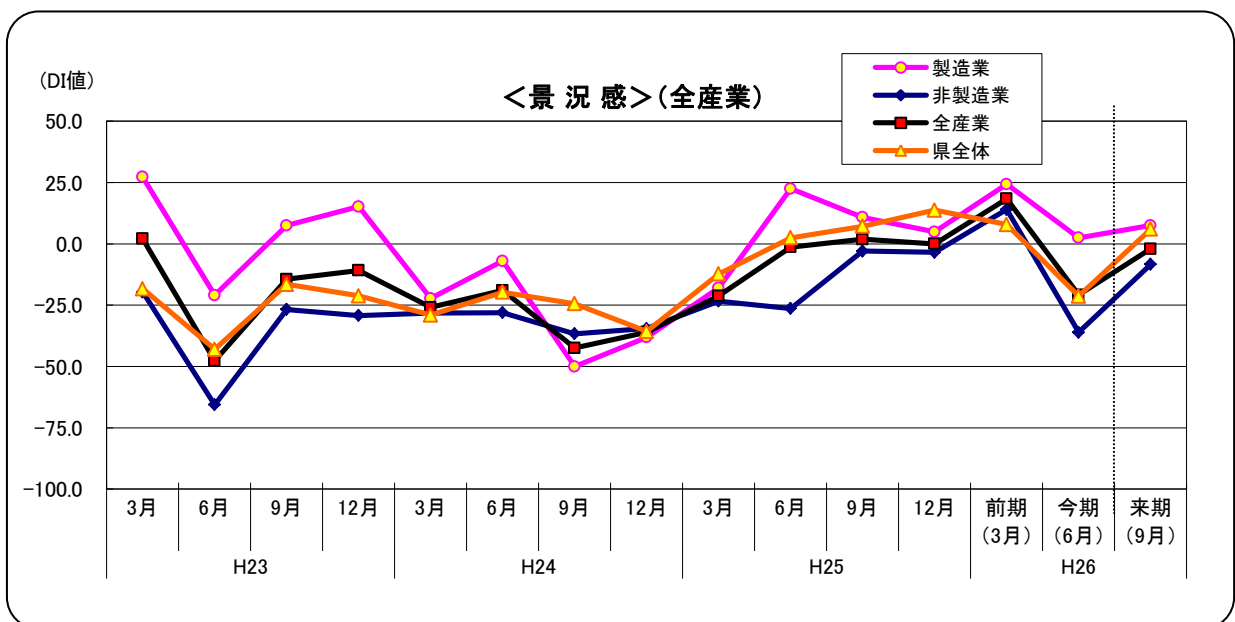
		前期		今期		来期	
		小松	県内	小松	県内	小松	県内
製造業	鉄工・機械	23.5	—	▲ 5.9	—	5.9	—
	繊維	10.0	—	7.7	—	▲ 7.7	—
	その他製造	40.0	—	10.0	—	30.0	—
	製造計	24.3	0.6	2.5	▲ 17.4	7.5	4.2
非製造業	建設業	26.7	28.4	▲ 47.4	▲ 7.1	▲ 10.5	3.1
	小売業	▲ 14.3	▲ 3.2	▲ 40.0	▲ 41.9	▲ 30.0	▲ 10.2
	卸売業	0.0	8.2	▲ 22.2	▲ 28.9	0.0	31.0
	サービス業(運輸含む)	19.0	3.4	▲ 30.4	▲ 25.0	0.0	10.3
	非製造計	14.0	11.3	▲ 36.1	▲ 23.3	▲ 8.3	7.0
全 体		18.4	7.9	▲ 20.8	▲ 21.3	▲ 2.0	6.0
改善予測		▲ 49.0	▲ 26.3	18.8	27.3	—	—

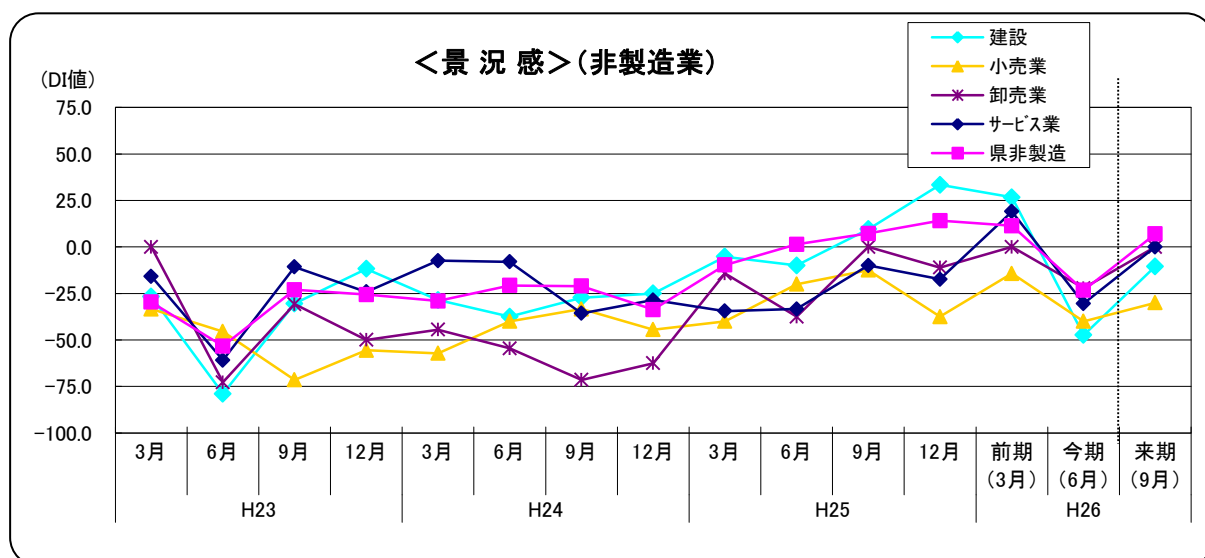
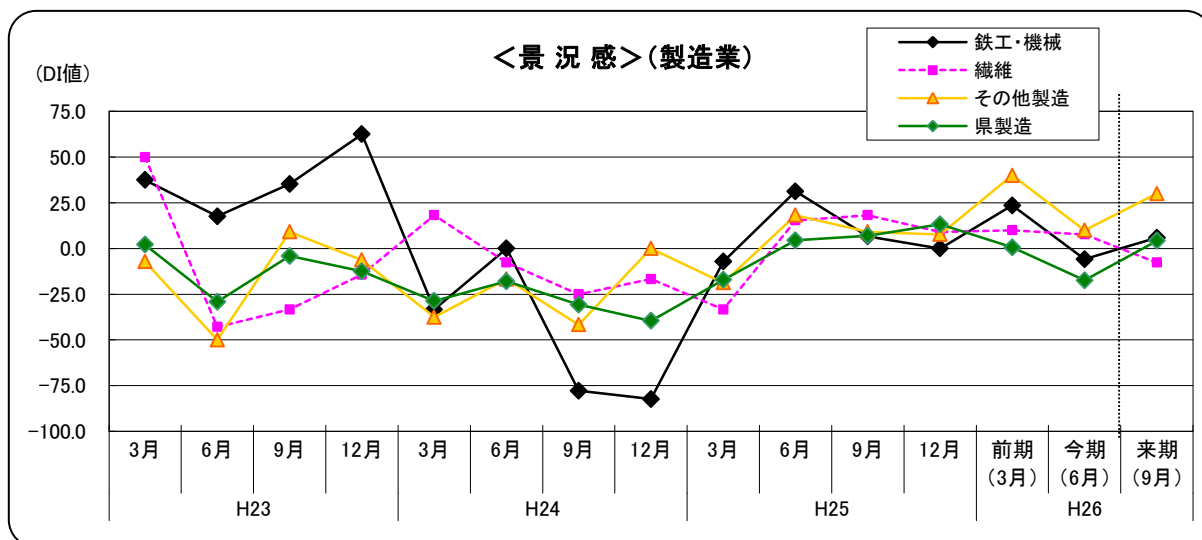
※改善予測（「来期」見通しから「今期」を差し引いた値、プラスの場合は今期より来期の方が上昇するという予測）

製造業については、鉄工・機械では前期 23.5 ポイントだったが、今期は▲5.9 と悪化。来期は 5.9 ポイントと回復の見通しを示している。繊維においては前期が 10.0 ポイントであったが、今期は 7.7 ポイントとやや悪化、来期が▲7.7 ポイントと悪化傾向を示している。その他製造業においては、前期から今期にかけて悪化しており来期は回復の見込みであることが伺える。

非製造業については、建設業が前期 26.7 ポイントから今期▲47.4 ポイントと悪化傾向にあり、来期が▲10.5 ポイントとやや回復の予測が伺える。小売については今期 25.7 ポイント悪化、卸売は 22.2 ポイント悪化、サービス業は 49.4 ポイント悪化となっており、総じて依然厳しい状況が続いていることが伺える。

(1)-3 年代別の推移





(単位:DI)

区分	今期(H26.6)			来期(H26.9)			備考
	小松地区	北陸三県	全国	小松地区	北陸三県	全国	
製造業	2.5	9	6	↗ 7.5	↗ 11	↗ 7	41社
非製造業	▲ 36.1	4	8	↗ ▲ 8.3	↘ 3	↘ 6	64社
全体	▲ 20.8	5	7	↗ ▲ 2.0	↗ 7	→ 7	105社

※北陸三県並びに全国の数値は 日銀金沢支店・短観(全国企業短期経済観測調査)より

(2)－(5) 売上高、売上単価、資金繰り、採算性(経常利益) DI一覧表

今期(第1四半期)の状況

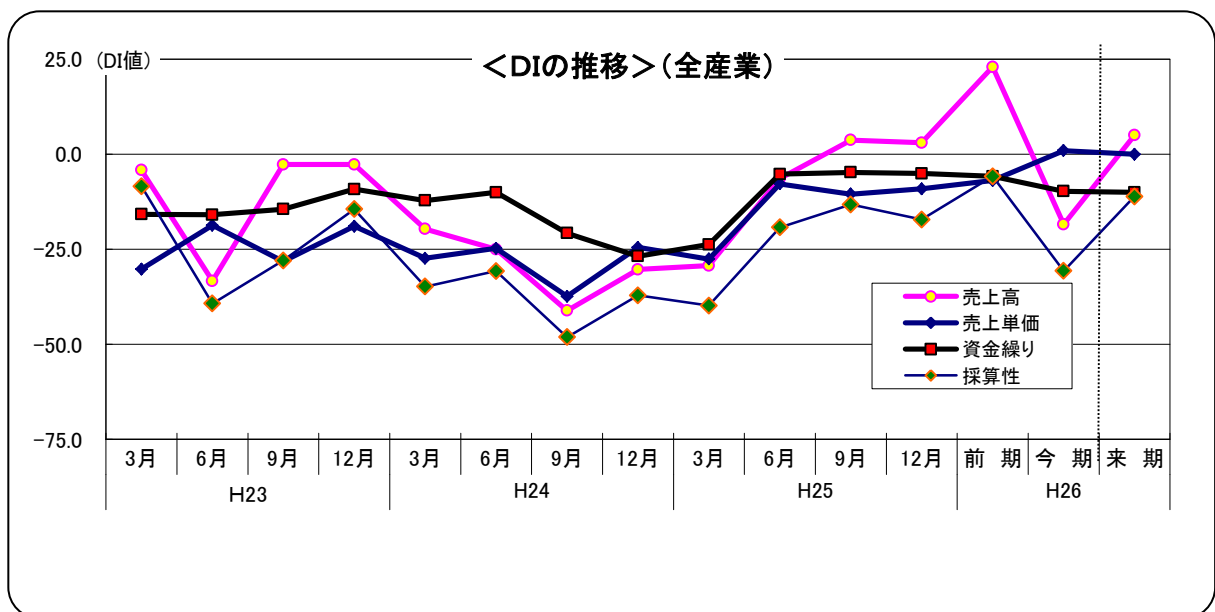
(単位:DI)

業種	売上高		売上単価		資金繰り		採算性	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
製造業	10.0	▲ 16.3	2.5	▲ 6.1	▲ 5.0	▲ 4.8	▲ 17.5	▲ 28.9
建設業	▲ 30.0	▲ 16.0	15.0	7.1	▲ 5.0	▲ 2.0	▲ 31.6	▲ 16.3
小売業	▲ 60.0	▲ 48.4	0.0	▲ 11.3	▲ 50.0	▲ 19.4	▲ 55.6	▲ 41.0
卸売業	▲ 11.1	▲ 26.7	22.2	2.2	▲ 11.1	0.0	▲ 11.1	▲ 13.3
サービス業	▲ 41.7	▲ 35.5	▲ 20.8	▲ 12.5	▲ 4.2	▲ 3.3	▲ 50.0	▲ 34.2
全体	▲ 18.4	▲ 25.9	1.0	▲ 4.9	▲ 9.7	▲ 5.3	▲ 30.7	▲ 27.8

来期(第2四半期)の見通し

(単位:DI)

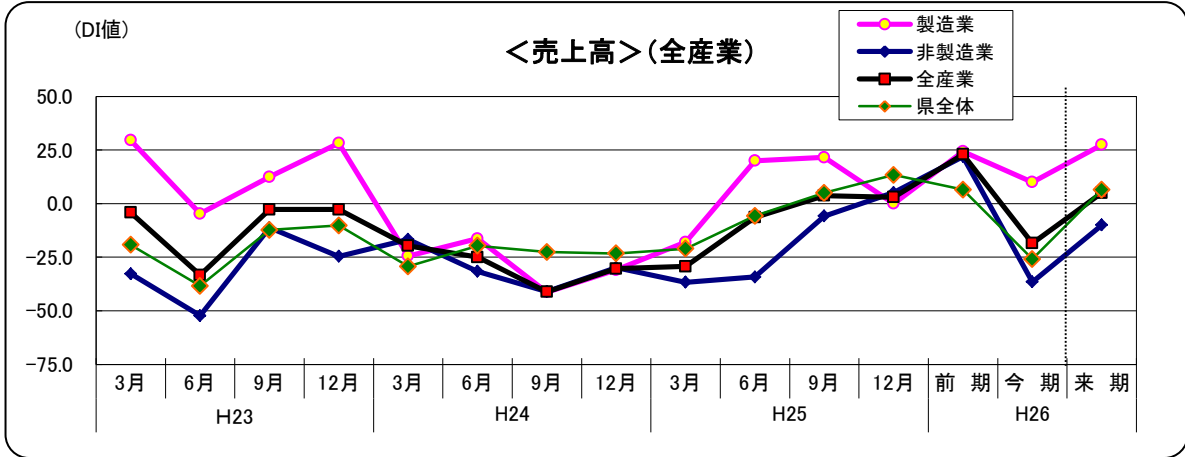
業種	売上高		売上単価		資金繰り		採算性	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
製造業	27.5	7.3	▲ 2.5	▲ 7.3	▲ 2.5	▲ 6.1	10.0	▲ 7.9
建設業	▲ 5.3	8.4	0.0	1.1	▲ 21.1	▲ 12.9	▲ 26.3	▲ 10.6
小売業	▲ 30.0	▲ 11.7	0.0	▲ 3.3	▲ 40.0	▲ 13.3	▲ 44.4	▲ 22.0
卸売業	12.5	26.8	12.5	11.9	0.0	2.4	0.0	16.7
サービス業	▲ 13.0	5.9	0.0	0.9	▲ 4.3	0.0	▲ 26.1	▲ 3.4
全体	5.0	6.5	0.0	▲ 1.5	▲ 10.0	▲ 6.1	▲ 11.1	▲ 6.9
改善予測 (今回)	23.4	32.4	▲ 1.0	3.4	▲ 0.3	▲ 0.8	19.6	20.8
改善予測 (H26.3)	▲ 63.0	▲ 28.1	3.4	▲ 3.8	▲ 7.1	▲ 6.2	▲ 34.2	▲ 18.0
改善予測 (H25.12)	▲ 9.2	▲ 17.5	▲ 4.3	▲ 4.3	▲ 6.4	▲ 6.2	▲ 3.4	▲ 6.6



(2) 売上高

(単位:DI)

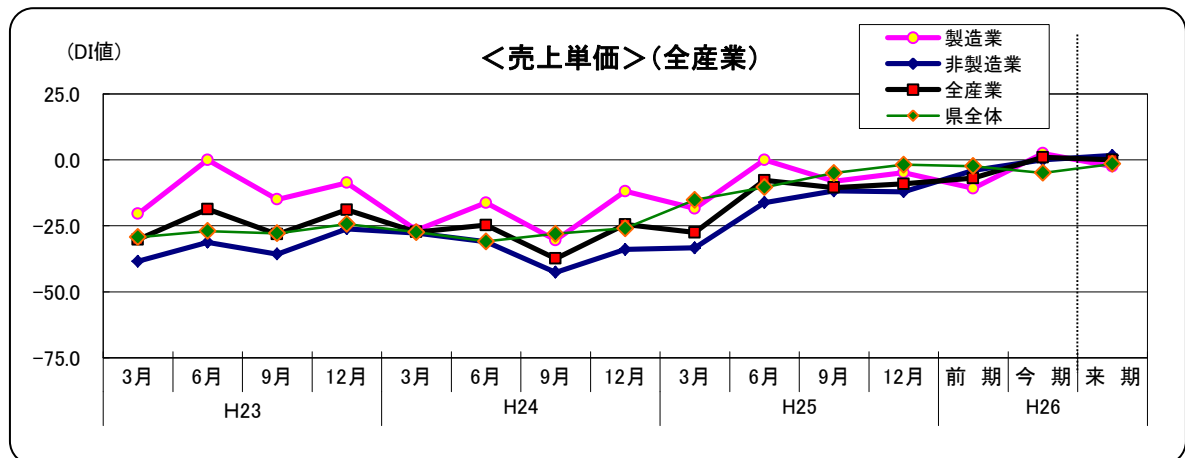
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	23.5	15.4	50.0	27.5	▲ 5.3	▲ 30.0	12.5	▲ 13.0	▲ 10.0	5.0	6.5
今期	▲ 11.8	38.5	10.0	10.0	▲ 30.0	▲ 60.0	▲ 11.1	▲ 41.7	▲ 36.5	▲ 18.4	▲ 25.9
前期	29.4	10.0	30.0	24.3	26.7	0.0	28.6	23.8	22.0	23.0	6.5



(3) 売上単価

(単位:DI)

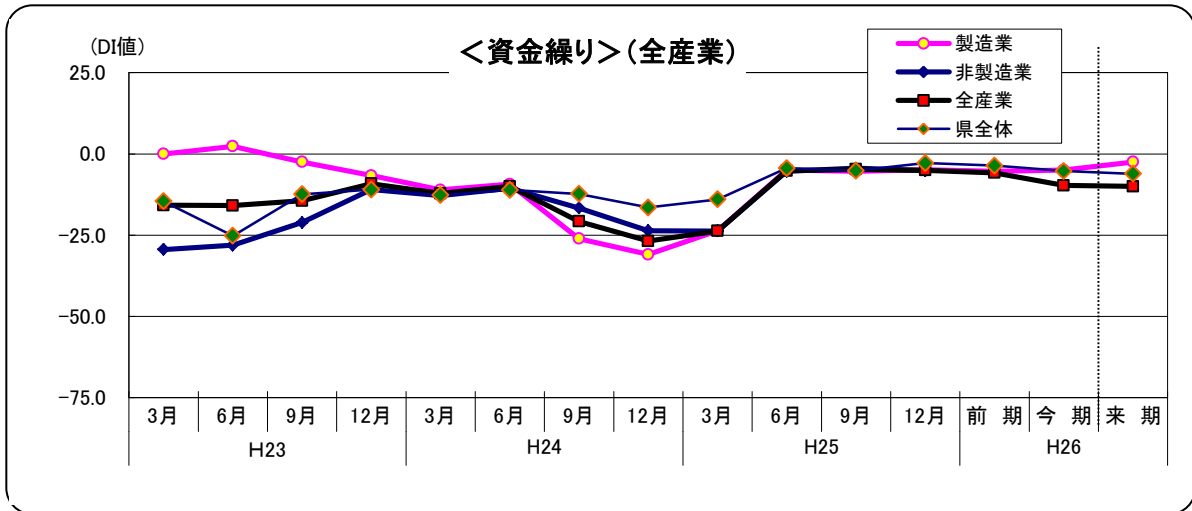
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	▲ 17.6	15.4	0.0	▲ 2.5	0.0	0.0	12.5	0.0	1.7	0.0	▲ 1.5
今期	▲ 5.9	0.0	20.0	2.5	15.0	0.0	22.2	▲ 20.8	0.0	1.0	▲ 4.9
前期	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 10.8	▲ 13.3	0.0	▲ 14.3	4.8	▲ 4.0	▲ 6.9	▲ 2.4



(4) 資金繰り

(単位:DI)

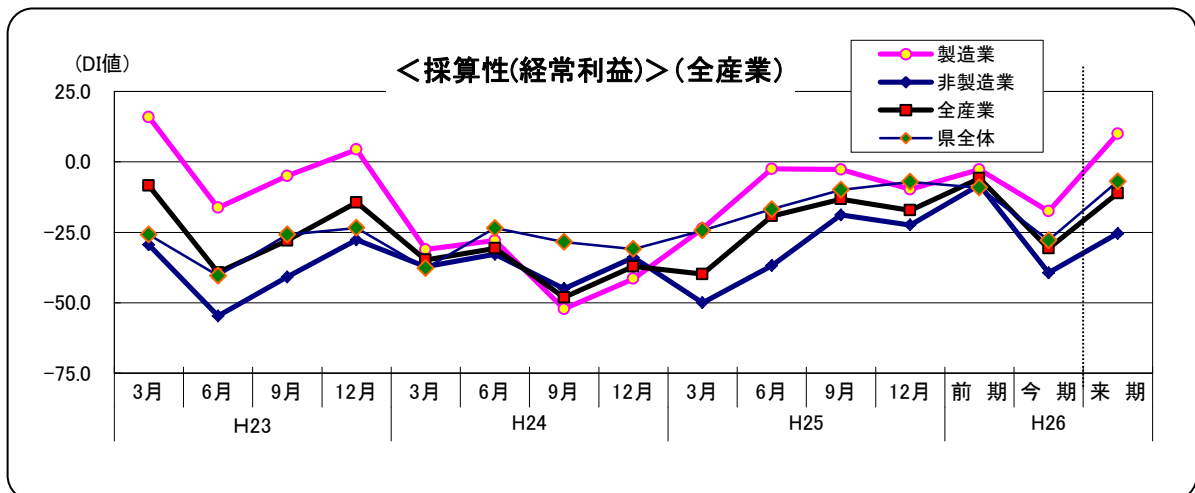
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	0.0	0.0	▲ 10.0	▲ 2.5	▲ 21.1	▲ 40.0	0.0	▲ 4.3	▲ 15.0	▲ 10.0	▲ 6.1
今期	▲ 11.8	0.0	0.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 50.0	▲ 11.1	▲ 4.2	▲ 12.7	▲ 9.7	▲ 5.3
前期	5.9	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 5.4	7.1	▲ 42.9	▲ 14.3	0.0	▲ 6.1	▲ 5.8	▲ 3.6



(5) 採算性(経常利益)

(単位:DI)

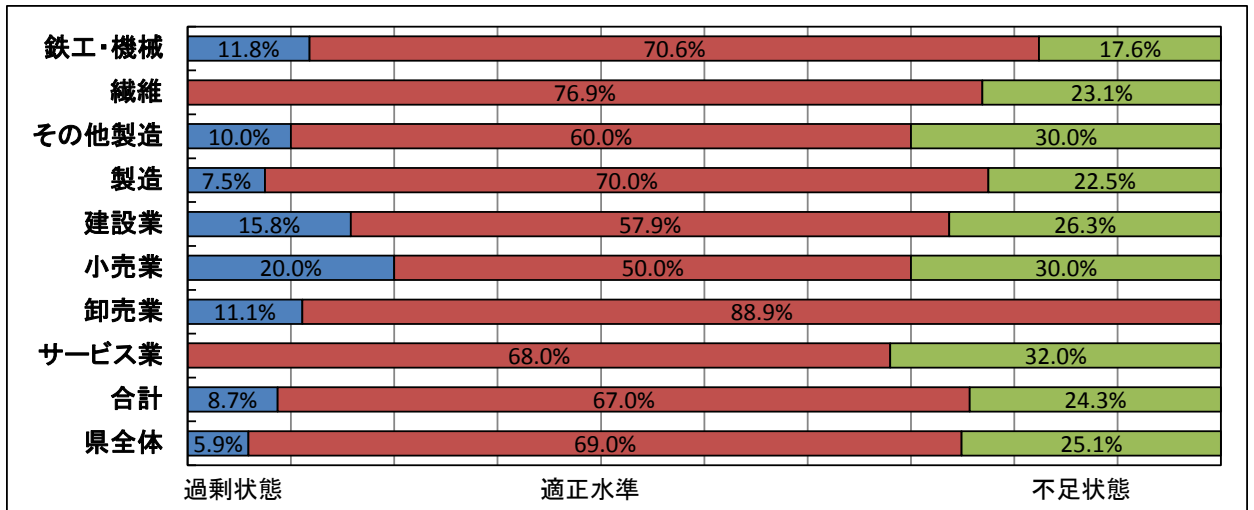
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	▲ 5.9	15.4	30.0	10.0	▲ 26.3	▲ 44.4	0.0	▲ 26.1	▲ 25.4	▲ 11.1	▲ 6.9
今期	▲ 23.5	▲ 15.4	▲ 10.0	▲ 17.5	▲ 31.6	▲ 55.6	▲ 11.1	▲ 50.0	▲ 39.3	▲ 30.7	▲ 27.8
前期	▲ 5.9	▲ 10.0	10.0	▲ 2.7	14.3	▲ 42.9	▲ 42.9	0.0	▲ 8.2	▲ 5.8	▲ 9.1



雇用情勢

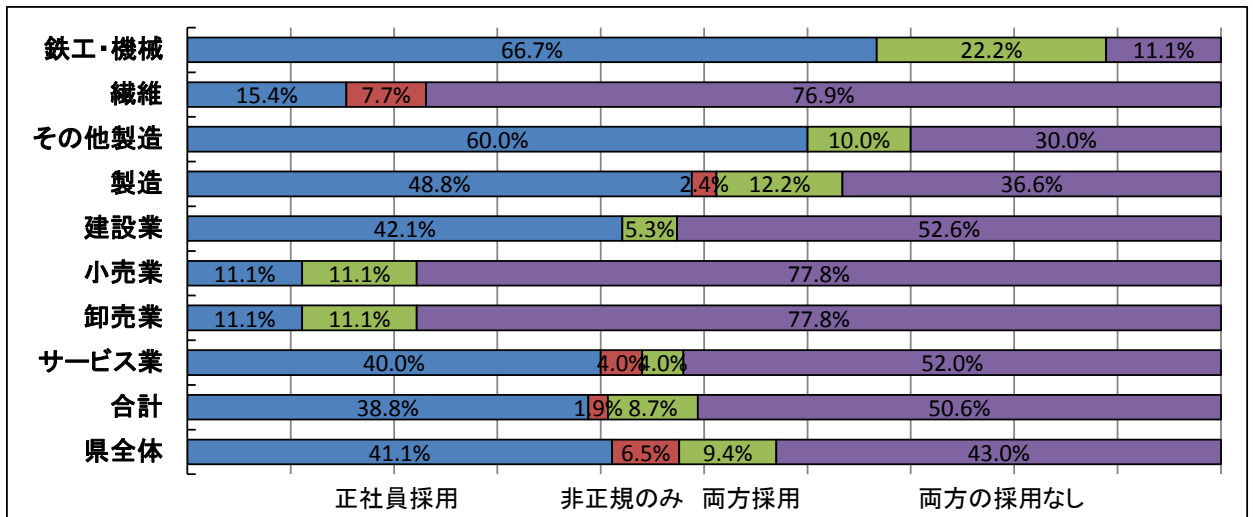
1. 現在の雇用状況については、どの状態と思われますか

	過剰状態		適正水準		不足状態	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	11.8%		70.6%		17.6%	
繊維	0.0%		76.9%		23.1%	
その他製造	10.0%		60.0%		30.0%	
製造業	7.5%	7.1%	70.0%	75.6%	22.5%	17.3%
建設業	15.8%	5.1%	57.9%	57.6%	26.3%	37.4%
小売業	20.0%	8.1%	50.0%	69.4%	30.0%	22.6%
卸売業	11.1%	2.3%	88.9%	84.1%	0.0%	13.6%
サービス業(運輸含む)	0.0%	5.0%	68.0%	63.6%	32.0%	31.4%
全体	8.7%	5.9%	67.0%	69.0%	24.3%	25.1%



2. 今期に社員の採用を行ないましたか

	正規社員雇用		非正規社員雇用		両方を雇用		両方の採用なし	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	66.7%		0.0%		22.2%		11.1%	
繊維	15.4%		7.7%		0.0%		76.9%	
その他製造	60.0%		0.0%		10.0%		30.0%	
製造業	48.8%	47.0%	2.4%	8.3%	12.2%	11.9%	36.6%	32.7%
建設業	42.1%	36.4%	0.0%	2.0%	5.3%	3.0%	52.6%	58.6%
小売業	11.1%	30.0%	0.0%	6.7%	11.1%	11.7%	77.8%	51.7%
卸売業	11.1%	47.7%	0.0%	4.5%	11.1%	11.4%	77.8%	36.4%
サービス業(運輸含む)	40.0%	40.0%	4.0%	8.3%	4.0%	9.2%	52.0%	42.5%
全体	38.8%	41.1%	1.9%	6.5%	8.7%	9.4%	50.6%	43.0%



Q「雇用情勢」の項目における「今期の採用」の理由、「雇用全般」に関する意見

① 正規社員を採用した

新規学卒の採用（製造業）
継続的に雇用を行っていくため（製造業）
今後人材不足が予想されるから（製造業）
設計社員の不足により（製造業）
人員不足であり、定期採用を行った（製造業）
学校とよい関係を維持するため（製造業）
平均年齢 40 歳をもう少し下げたい。新しい感性を取り込みたい。7～8年後に幹部社員の定年の準備（製造業）
2014 年は設備、人材投資のタイミングと見据えて行った（製造業）
年輩から若い層に切り替えをしている（製造業）
会社のプロを育てるため（製造業）
新規分野への挑戦のため、特殊技能者の業歴採用を行った（製造業）
社員率向上、高齢化対策他(製造業)
定年退職により補充（製造業・サービス業）
欠員の補充（製造業・サービス業）
新しい需要開発は現状では困難であり、雇用は退職者の補充程度である（サービス業）
定期的な採用による、安定した成長基盤づくりのため（卸売業）
長期間、正社員を雇用しておらず、行く末の事を考え、社員不足とならないため（建設業）

③ 正規社員、非正規社員の両方を採用した

定期新卒採用。期間雇用者の正社員登用。増数による増員（製造業）
若返り作戦が求められていると思う（製造業）
人材不足を補うため（建設業）
人数は適正ながら、能力が不足気味だから（卸売業）
組織の活性化、次世代対策（小売業）
退職者の補充のため（サービス業）

雇用全般に関する意見

例年だと、新高卒者が2～3名位入社したが、今年4月の新卒者は女性1人だった。最近は特に日系人が少なくなった様な気がする（製造業）

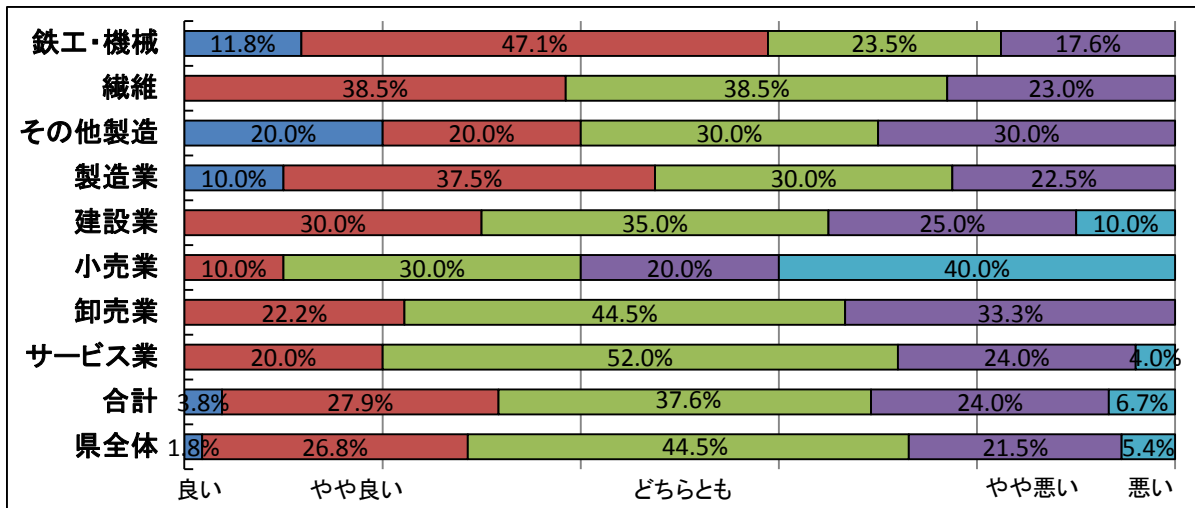
4月以降公共事業が非常に少なく、売上が昨年よりも少ない。公共工事の発注を10月以降に集中するのではなく、平準化してほしい（建設業）

ただの人は要せず、人材を要するもない（建設業）

景気の現状

6月現在の景気状況は、どのあたりだと思いますか？

	良い		やや良い		どちらとも いえない		やや悪い		悪い	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	11.8%		47.1%		23.5%		17.6%		0.0%	
繊維	0.0%		38.5%		38.5%		23.0%		0.0%	
その他製造	20.0%		20.0%		30.0%		30.0%		0.0%	
製造業	10.0%	3.0%	37.5%	28.6%	30.0%	39.9%	22.5%	27.4%	0.0%	1.2%
建設業	0.0%	3.0%	30.0%	37.0%	35.0%	43.0%	25.0%	10.0%	10.0%	7.0%
小売業	0.0%	0.0%	10.0%	6.5%	30.0%	54.8%	20.0%	24.2%	40.0%	14.5%
卸売業	0.0%	0.0%	22.2%	24.4%	44.5%	48.9%	33.3%	22.2%	0.0%	4.4%
サービス業(運輸含む)	0.0%	0.8%	20.0%	27.0%	52.0%	45.1%	24.0%	21.3%	4.0%	5.7%
全体	3.8%	1.8%	27.9%	26.8%	37.6%	44.5%	24.0%	21.5%	6.7%	5.4%



今期(第1四半期)直面している経営上の問題点(複数回答可)

	小松	県内
仕入単価の上昇	44社 19.6%	21.1%
需要の停滞、売上の減少	43社 19.1%	19.3%
経費の増加	35社 15.6%	16.0%
従業員の確保難	29社 12.9%	11.1%
販売単価の低下・上昇難	23社 10.2%	11.6%
大企業の進出や過当競争による競争の激化	22社 9.8%	9.0%
後継者の育成・確保	15社 6.7%	6.5%
事業資金の借入難	7社 3.1%	2.1%
金利負担の増加	4社 1.8%	1.1%
その他	3社 1.3%	2.2%

Q「経営上の問題点」の項目における「10. その他」の意見

特になし
急激な生産の増減、コマツキャストックスの事故後の報告や今後の見通しに対しての情報がない(製造業)
消費税増税前の駆け込み需要の反動減(製造業)
労働基準監督署の立ち入りがあり、時間外手当について是正勧告があった。これらをすべてクリアすると労働単価が大幅に上がり、赤字転落、競争力低下は避けられないことになる。(ちなみに当社残業カットは一切なし)零細企業には、零細企業の工夫でこれまで頑張ってきたが、すべてを大企業なみにすることは不可能。お役所は零細企業の実態を理解できていない(建設業)

Q「経営上の問題点」の項目における「具体的な問題点」

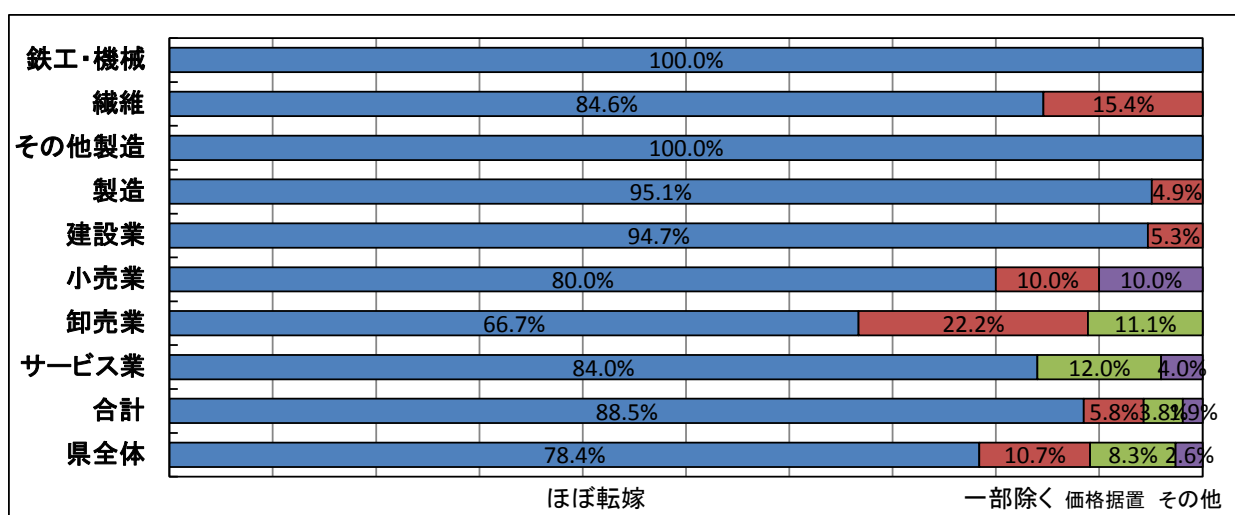
市外・県外業者の進出による競争激化(建設業)
同業大手の価格攻勢、当社提示価格の下をくぐる商売(卸売業)
コンビニが増えた(小売業)
原油高の影響(建設業)
エネルギー業界では原油を始め殆どが外国からの輸入による為、価格を企業努力ではどうにもならない(サービス業)
原油高による燃料費の増大が経営を圧迫している(サービス業)
電気代、燃料代の上昇(製造業)
ほとんどのものが、値上がりとなって来ている(小売業)
変動費が売上に比例しない(製造業)
設備の老朽化(サービス業)
老朽化した設備の修理(卸売業)
社会保険の負担の割合が大きい(小売業)
固定費が賄えない(製造業)
アベノミクスに中小はその恩恵はまだ受けていないが、材料が高くなっている(製造業)
需要減による競争激化(小売業)
輸送費関係の受注が低迷している(製造業)
社員のベースアップを考えるも、売上の減少が予想され、名目的なものになる(サービス)
コマツの中国向け建機売上不調に伴い、弊社売上も減少となっている(製造業)
消費税値上りによる売上減(小売業)

買い控えあるいは、先食いのため（卸売業）
消費が拡大すれば好循環となるのですが（卸売業）
お盆以降、受注量の大幅減少が予想される。固定費が負担となる（製造業）
企業トップとの賃金格差（製造業）
従業員の教育、指導（製造業）
新人入社による生産性低下、期間工、派遣社員の早期退社（製造業）
特に溶接技術取得者の不足（製造業）
証券業であり、相場変動に左右されやすい。若い人材に優秀な者が不足している（サービス業）

消費増税価格転嫁について (内部資料)

① 貴社において、消費増税の増税分を価格転嫁できましたか。

	ほぼ転嫁		一部商品を除き、転嫁		転嫁できず 価格据え置き		その他	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	100.0%		0.0%		0.0%		0.0%	
繊維	84.6%		15.4%		0.0%		0.0%	
その他製造	100.0%		0.0%		0.0%		0.0%	
製造業	95.1%	80.5%	4.9%	7.7%	0.0%	11.2%	0.0%	0.6%
建設業	94.7%	74.2%	5.3%	13.4%	0.0%	7.2%	0.0%	5.2%
小売業	80.0%	79.0%	10.0%	11.3%	0.0%	8.1%	10.0%	1.6%
卸売業	66.7%	80.0%	22.2%	13.3%	11.1%	2.2%	0.0%	4.4%
サービス業(運輸含む)	84.0%	77.9%	0.0%	11.5%	12.0%	7.4%	4.0%	3.3%
全体	88.5%	78.4%	5.8%	10.7%	3.8%	8.3%	1.9%	2.6%



Q「消費税増税価格転嫁(価格転嫁)」の項目における「価格転嫁②③」の具体的意見、「④その他」の内容と具体的意見

② 一部商品を除き、転嫁できた

ボリューム商品については、難しい(製造業)
遅いか早いかの違い、いずれなる(製造業)
撮影、プリント(卸)(小売業)
4月末完成物件は5%で請求させられた。当社には契約書はないが、客と元請の間には9月末の契約書があるらしい(建設業)

③ 転嫁できず、価格を据え置いている

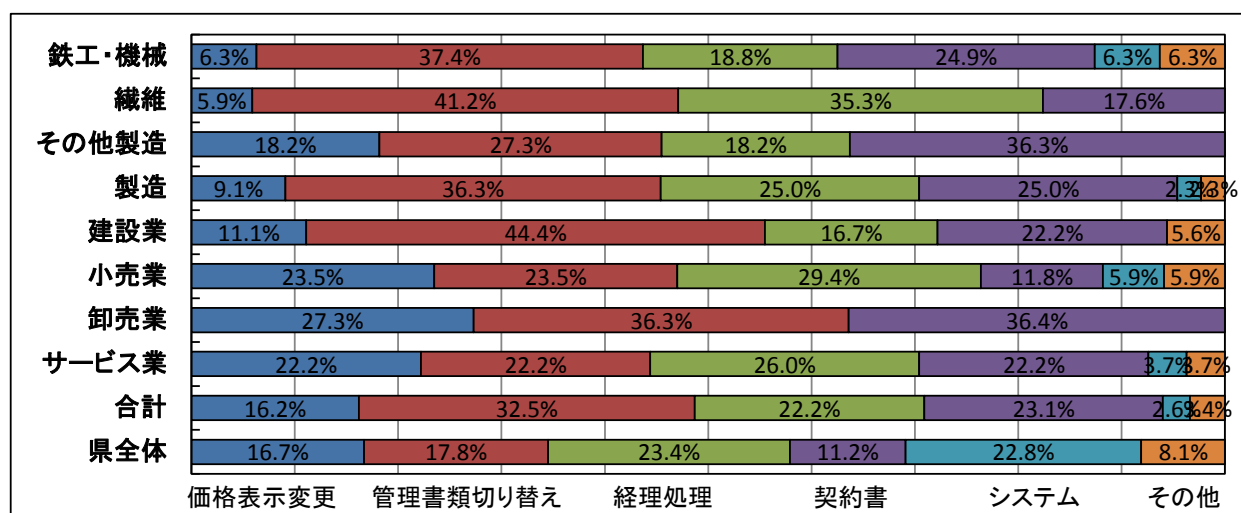
組合により価格を上げられない(サービス業)
消費税分だけを転嫁(サービス業)

④ その他

一応転嫁の方向にしているが、まだ受け入れられているかどうか答えが出ていない(小売業)
現在交渉中、個々の取引先と個別に交渉(サービス業)

② 貴社において、消費税引き上げに伴い、負担が大きかったという事項について教えてください。

	価格表示変更		管理書類の切り替え		経理処理		契約書等の見直し		システムの変更等		その他	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	6.3%		37.4%		18.8%		24.9%		6.3%		6.3%	
繊維	5.9%		41.2%		35.3%		17.6%		0.0%		0.0%	
その他製造	18.2%		27.3%		18.2%		36.3%		0.0%		0.0%	
製造業	9.1%	8.5%	36.3%	19.9%	25.0%	30.1%	25.0%	5.7%	2.3%	25.0%	2.3%	10.8%
建設業	11.1%	3.6%	44.4%	24.5%	16.7%	25.5%	22.2%	24.5%	0.0%	13.6%	5.6%	8.2%
小売業	23.5%	48.4%	23.5%	7.7%	29.4%	12.1%	11.8%	7.7%	5.9%	22.0%	5.9%	2.2%
卸売業	27.3%	10.0%	36.3%	20.0%	0.0%	26.7%	36.4%	6.7%	0.0%	30.0%	0.0%	6.7%
サービス業(運輸含む)	22.2%	18.9%	22.2%	16.0%	26.0%	20.1%	22.2%	11.8%	3.7%	24.3%	3.7%	8.9%
全体	16.2%	16.7%	32.5%	17.8%	22.2%	23.4%	23.1%	11.2%	2.6%	22.8%	3.4%	8.1%



Q「消費税増税価格転嫁(増税に伴う負担)」の項目における「6. その他」の意見

印紙が高額(卸売業)
労力とパソコンのソフトや直し代と、料金のかかることばかりで大変だった(小売業)
経過措置等、関与先への説明(サービス業)
特になし

■ 現在の景気全般(消費税増税価格転嫁等も含めて)に関して、ご意見をお聞かせ下さい。

ものづくり補助金及び設備投資による税制優遇により、設備投資が増加傾向にある様に感じる (製造業)
新聞ではよくなっているとの事だが、実感がない(製造業)
建設機械業界では、現在小型機種種の排ガス第4次規制導入前の駆け込み需要でかなり受注が増えているが、この秋の施行後は急激に落ち込むと思う。次年度はミニ建機に移行(規制) (製造業)
21世紀経済バランスに適合して前進して行く。消費税10%に異議なし、何時でもよいと思う (製造業)
アベノミクスの景気回復に我々小企業はまだまだ回ってこない。このまま失速するのでは (製造業)
当社としては、12月まで見てみないと、何とも言いようがない(製造業)
4. 5. 6月と前年受注割れ。9月頃から持ち直しの可能性あり(製造業)
受注回復の見通しが立たない(製造業)
先がみえない(製造業)
富山県氷見市KCX(コマツキャストックス)の事故発生により、素材(鋼材)納入が不透明で、納期が後倒しとなり、売上予想がつかない(製造業)
政府の経済対策(アベノミクス)不足(製造業)
アベノミクスの効果は、零細企業にまで及んでいない。消費税増税で消費の落ち込みがこれから先、どれくらいあるか?7~9月は不透明だ(製造業)
個々の企業によって違うと思う(業界、業種が同じでも)。状況が目まぐるしく変わる為、変化に対応・準備している会社のみ生き残っていくだろう。会議所の存在意義を益々問われ、このままでは退会する会社は増えると思う。(製造業)
そんなことを気にしている暇があったら、自分でできることをした方がいい(製造業)
海外観光客の増加、オリンピック需要の期待等、大きな(採算向上)が待ち遠しい一方、人手不足が課題(製造業)
東京オリンピックに向けての景気に対する期待感はある(製造業)
公共投資に停滞感がある。民間投資について中小・地域への波及効果が少ない。(建設業)
景気が悪い(建設業)
企業間の仕事量の格差がみられる(建設業)
大企業は景気がよくなっていると感じていると思うが、我々中小企業はまだまだ感じられない(建設業)
来年の消費税アップが気にかかる。前年度は駆け込み需要が多かった。恐らく本年度いっぱい景気は落ち込まない。県や市のすべての景気対策は来年度に向けたものであってほしい。民需は絶対来期落ち込む。(建設業)
本当の状況下は、見えない(建設業)
明暗バラツキが得意先に目立ち、全体的にムードは良いが、数字の伸びに繋がって来ない。後半良くなるという見込みに不安が出て来ている(卸売業)

製造原価のコストUPによる利益率の低下（小売業）
とても10%は無理。年金が減ると老人の売上が減る（小売業）
世の中が思っているほど、小売業は景況を良く感じない（小売業）
流通業界全体、大手進出により将来の見通しが難しい（小売業）
特に変化を感じない（サービス業）
景気の状態は一部よくなっているようであるが、中小企業、個人企業にはまだ到来していないように思われる。第一四半期経過時において、現状では、今後もっと落ち込むように思われる (サービス業)
これ以上の消費税増税は需要先への転嫁は極めて困難で代金の不払いが増加する一方で事業が円滑に出来ない。絶対にやめてほしい（サービス業）
今後も成長戦略が政府より発信されていくと考えられるが、中小企業にとっての恩恵は限定的で、当社への波及も大きく期待出来るものにはないと予想する（サービス業）
消費増税前の駆け込み需要が一段落している（サービス業）
関与先を廻ってみて、消費の減少が感じられる（サービス業）
期待感から、現実感と変わる境目と思われる（サービス業）
想定よりも、消費税の影響が少なかった（サービス業）
まだわからない（サービス業）

—小松商工会議所—